

大ニユース

版 コ ス ネ シ

道新 No. 147
 中口新 No. 173
 高新 No. 232
 新愛媛 No. 60
 其の後の被災地を以て札幌、岩手、秋田、山形、福島(本編同) 道中)
 名物買取り - 吳 - 12/10
 基地材の張りめぐり - 島根、鳥取 - 13/10
 本編同
 本編波乱の首位攻防
 此の目

No. 397 36.8.25

ス ポー ツ (10 OR) 一、破乱の首位攻防

セ・リーグベナントレースは第二十節現在ゲーム差なしで中日・巨人が首位争い、その中で二十二日から名古屋中日球場で三連戦が行なわれました。
 二十二日の第十七回戦は中日権藤、巨人中村稔と両エースの先発で開始、しかし両チーム気力あふれる攻撃は次々に操り出す七投手に合計二十六安打をあげせ、巨人が二回に先行すれば三回には中日が同点、そして五回には逆転、しかし七回には巨人宮本がスリーラン・ホームランと逆転又逆転と首位攻防にふさわしいゲームを展開しました。
 だが最終回の土壇場しつように喰いさがる中日は河野・井上江藤がヒットを集中、二点差を見事にはねかえし、サヨナラ勝ちに成功。しかし中日・巨人・国鉄入り乱れてのベナントレースはますます混とんとして来しました。

一、防 衛 (10 OR) 力

戦後十六年私たちの周囲にはさまざまな移り変わりがありました。防衛力増強もその一つ。昭和四十一年までにはのべ三兆円に及ぶ軍事費が投入され、アジアで最も整備された軍隊になろうとしています。

ふりかえれば昭和二十年一千万人の犠牲を代償に敗戦、二度と戦乱の悲劇は繰り返すまいと誓いながら新憲法に戦争放棄を宣言したのが昭和二十二年でした。

しかしそれからわずか三年にして東西対立は朝鮮動乱を誘発。その二週間後にはマッカーサーの再軍備要求で吉田政府は「警察予備隊を創設し六万円という当時では破格の退職金で隊員七万五千人を集めました。

昭和二十六年国を二分しての反対を押し切って単独講和条約を締結。共産国に対抗する西側陣営に踏み切るや「戦力なき軍隊」の規模も年を追って増加その名称も、警察予備隊から保安隊へ、そして昭和二十九年には国会乱闘事件の中で防衛二法が成立して陸海空三軍からなる自衛隊が誕生しました。

こうした中でソビエトはICBMや人工衛星の打上げ競争で完全にアメリカを破りました。軍事的に立ち遅れたアメリカは西欧諸国との団結強化にのりだすと同時に、日本との軍事的同盟の強化にのりだし、安保条約の改訂にのりだしたのです。国論を二分し、六・一五事件を頂点とする激しい反対運動も押し切って新安保を強行成立、そのうらみとして一兆千六百億円を投入する防衛力整備五カ年計画を決定しました。

これと機を一つに就任した藤枝新防衛長官は「敵は国際共産勢力」と強調。この訓辞を裏書するよう北海道の対ソ前線基地では常時戦時態勢にあります。兵力一万三千の増員募集を開始する一方、ミサイル部隊も新設されることも既に決定しています。しかも新しい自衛隊員たちは、戦後に生れ戦争体験をもたない人々の手に替ってゆきつつあります。身を捨てて国を守る防衛の思想は戦争を知らない少年たちの中でどのように芽生えどのように成長していくのでしょうか。

焼土の中から平和の理想を掲げた戦後。そして今日のこの現実との間に余りにも大きな距りがあることを感じないわけにはゆきません。